

レオパレス21、「健康経営優良法人」に9年連続で認定

株式会社レオパレス21(東京都中野区 代表取締役社長:宮尾 文也、以下「当社」)は、経済産業省・日本健康会議が主催する「健康経営優良法人2025」に認定されましたのでお知らせいたします。今回の認定により、健康経営優良法人認定制度が創設された2016年度より9年連続の認定となりました。



「健康経営優良法人認定制度」とは*

地域の健康課題に即した取組や日本健康会議が進める健康増進の取組をもとに、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業、医療法人等の法人を顕彰する制度です。優良な健康経営に取り組む法人を「見える化」することで、従業員や求職者、関係企業や金融機関などから「従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる法人」として社会的に評価を受けることができる環境を整備することを目的としています。

*引用:経済産業省 健康経営の顕彰制度について

https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/healthcare/downloadfiles/seidosetumei1007.pdf

具体的な取り組み

【禁煙推進】

喫煙による健康被害防止や受動喫煙防止を目的として、2024年5月1日付で『レオパレス21禁煙宣言』を発布しました。禁煙施策に加え、敷地内全面禁煙(喫煙所撤廃)、労働時間内禁煙、就業規則に喫煙禁止に関する項目を追加し、全社を挙げて禁煙に取り組んでいます。

【健康に関する各種施策】

全国の従業員を対象としたウォーキングイベントや、食事・睡眠・運動などの健康に資するE-Learning・セミナーを定期的実施しています。また、朝食摂取を推進するための食生活改善企画、メンタルヘルスマネジメント検定の費用補助も行っています。さらに、2024年には本社従業員を対象に、6年ぶりに「健康フォーラム2024」を開催するなど、様々な施策により一人ひとりのヘルスリテラシーの向上を目指しています。

【専門職による健康支援】

保健師や臨床心理士の資格を有する産業保健スタッフを常駐させ、従業員の健康管理をサポートしています。例えば、保健師による二次検査の受診勧奨や保健指導、また臨床心理士によるメンタルヘルス研修の実施や相談対応などを通じた疾病の未然予防、重症化予防への取り組みを行っています。また、外部医療機関や産業医と連携を図り、休復職支援や両立支援にも力を入れています。

【従業員エンゲージメントに関する施策】

サーベイシステム『Geppo』を利用し、組織サーベイを半年に1回、パルスサーベイを毎月1回実施しています。組織サーベイについては会社と従業員のエンゲージメントを定量的にモニタリングし、組織・階層別の特徴を洗い出し、制度改定や教育施策等に役立てています。パルスサーベイについては毎月3つの簡単な質問に回答してもらうことで、個々人の定期的なコンディションの把握が可能となり、上司部下間のコミュニケーション促進にもつながっています。

レオパレス21の健康経営への取り組み

<https://www.leopalace21.co.jp/sustainability/esg/humancapital/health/index.html>

関連するプレスリリース

2024年1月23日「Leopalace21 Wellness Report 2023」発行のお知らせ

<https://www.leopalace21.co.jp/news/2024/0123.html>

当社は、「新しい価値の創造」を実現するための土台として、従業員の心身の健康が重要であると考え、健康経営に取り組んでいます。今後も、従業員およびステークホルダーの健康維持・増進に努めてまいります。

■会社情報

株式会社レオパレス21

設 立：1973年8月17日

本社住所：〒164-8622 東京都中野区本町2-54-11

代 表 者：代表取締役社長 宮尾 文也

企業サイト：<https://www.leopalace21.co.jp/>

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社レオパレス21 広報 IR 課

■報道機関様

E-Mail. kouhou@leopalace21.com